

全 員 協 議 会 会 議 録

(平 成 1 8 年 9 月 5 日)

- 1 . 各一部事務組合の現況と経過報告

む つ 市 議 会

むつ市議会全員協議会会議録

開会の日時 平成18年9月5日(火) 午後 2時17分開会
午後 2時32分閉会

場 所 下北文化会館展示ホール

出席議員 (57人)

1番	濱田栄子	2番	山本留義
3番	白井二郎	4番	村中徹也
5番	堺孝悦	6番	川端一義
8番	小林正	9番	菊池一郎
10番	新谷功	11番	高田正俊
12番	村川壽司	13番	東健而
14番	澤藤一雄	15番	石田勝弘
16番	富岡幸夫	17番	杉浦守彦
18番	柴田峯生	19番	杉浦洋
20番	久保田昌司	21番	横垣成年
22番	工藤孝夫	23番	大澤敬作
24番	松野裕而	25番	東谷良久
26番	東谷正司	27番	佐々木隆徳
29番	竹本強	31番	坂井一利
32番	福永忠雄	33番	板井磯美
34番	飛内賢司	35番	赤松功
36番	田澤光雄	38番	佐々木肇
39番	鎌田ちよ子	40番	菊池広志
41番	野呂泰喜	43番	千賀武由
44番	目時睦男	45番	田高利美
46番	澤田博文	47番	菊池清
48番	柏谷均	49番	工藤清四郎
50番	服部清三郎	51番	杉本清記
52番	慶長徳造	53番	佐藤司
54番	牛滝春夫	55番	本間千佳子
56番	半田義秋	57番	坪田智十司
58番	斉藤孝昭	59番	中村正志

60番 富岡 修
62番 宮下 順一郎

61番 川端 澄男

欠席議員（5人）

7番 川下 八十美
30番 千船 司
42番 工藤 直義

28番 立石 政男
37番 徳 誠

○説明のため出席した者

市	長	杉山	肅
助	役	田頭	肇
収 入	役	田中	實
教 育	長	牧野	正藏
公 営 企 業 管 理 者		杉山	重一
総 務 部	長	齋藤	純
総 務 部 理 事 出 納 室	長	西堀	敏夫
企 画 部	長	渡邊	悟
民 生 部	長	高橋	勉
保 健 福 祉 部	長	名久井	耕一
経 済 部	長	佐藤	純一
建 設 部	長	成田	豊
教 育 部	長	宮下	孝信
教育委員会事務局理事		新谷	加水
公 営 企 業 局	長	小川	照久
総 務 部	次 長	千船	藤四郎
企 画 部	次 長	工藤	武勝
企 画 部 財 政 調 整 監		近原	芳栄
企 画 部 企 画 課	長	奥島	慎一
企 画 部 財 政 課	長	下山	益雄
川 内 庁 舎 所	長	佐藤	吉男
大 畑 庁 舎 所	長	伴	邦雄
脇 野 沢 庁 舎 所	長	船澤	桂逸
総 務 部 総 務 課	長	鴨澤	信幸
総 務 部 総 務 課 行 政 係	長	吉田	真
総 務 部 総 務 課 行 政 係 主 査		中野	敬三

○事務局出席者

事務局長	小	島	昭	夫	次	長	高	田	文	明
総括主幹	工	藤	昌	志	主	幹	柳	田		諭
庶務係長	金	澤	寿	々子	庶務主任	主査	濱	村	勝	義
調査係主査	青	山		諭	議事係主任		赤	石	奈	穂子
議事係主任	葛	西	信	弘						

(午後 2時17分 開会)

○議長(宮下順一郎) ただいまから全員協議会を開会いたします。

本日の全員協議会は、各一部事務組合の現況と経過報告を受けることとしております。

それでは、市長から報告をお願いいたします。市長。

(杉山 肅市長登壇)

○市長(杉山 肅) 各一部事務組合の現況と経過については、去る6月13日の全員協議会でご報告申し上げました以降、現在まで2組合とも議会が開催されておりませんので、特に申し上げる事項はございません。

なお、6月1日後の医師の異動についてであります。現在まで行われておりませんので、特に申し上げる事項はございません。

○議長(宮下順一郎) それでは、各一部事務組合の現況について質疑ありませんか。43番千賀武由議員。

(43番 千賀武由議員登壇)

○43番(千賀武由) 資料がないのですけれども、大畑の診療所について伺ってよろしいでしょうか。

○議長(宮下順一郎) 結構です。

○43番(千賀武由) ありがとうございます。それでは、大畑診療所について、市長にお伺いしたいと思います。

市長は、さきの選挙で大畑地区での街頭演説の中でも、医師を確保し、早い時期に病院に戻すという公約もしてございます。また、大畑地区の代表者や議員を含めまして、40名ぐらいで大畑地区の住民の命を守るための病院の医療体制の充実ということで切実な訴えもしていますし、たびあるごとに市長に訴えているところでもございます。そのほかにも、ほかの団体等を通していろいろ市長に訴えをしているところでもございます。

医師の不足は、重々私は承知しておるところでございます。この定例会ごとに医療センターの報告があるわけですが、一向にその先が見えていないのが現状ではないでしょうか。市長初め関係理事者の方も頑張っているということは重々承知しているわけですが、医師確保について、一日も早い実現のための最新の現状といえますか、今後の進め方について市長のご見解を伺いたいと思います。

それと、もう一つでございます。昨年6月でございますが、大畑の総合福祉センター「ふれあい館」におきまして、大畑診療所の空き病床の今後の活用方法につきまして、意見を求める集まりがあったわけですが、そのときは市長は所用で出席しなかったわけですが、会議が空転いた

しまして、仕切り直しということで現在に来ておりました、その後全くこの活用方法についての会議が開かれておりません。その会議を再開して、その方向性を早く決めるよう市長、管理者としてこの会議をぜひ再開するようお願いしたいわけですが、その市長のお気持ちも伺いたいと思います。この2点についてひとつよろしくお願いします。

○議長（宮下順一郎） 市長。

○市長（杉山 肅） 報道等でも十分ご承知いただいているところだと思えますが、東北の医学部の定数を暫定的にふやすという措置がとられます。これは、ふえましても8年後でないと効果が出てこないということになります。そういう中で、医師を確保するという事は、診療所ではなく病院にするということになると非常に難しい問題でありますので、現在はむつ総合病院も可能な限りの支援体制をとるのだという考え方で、大畑診療所だけではないのですが、今は大間病院にも出しています。それから、佐井診療所も一応廃止になっているのですが、そこには常駐させる形で協力していかなければならないという状態になっておりますので、そういう中で大畑診療所の診療体制を低下させないように懸命の努力をしていくと、これがむつ総合病院の方針でございますので、本当の意味の医師確保は定数3、きちんと定着してもらい必要があるわけです。それには時間がかかるということでご理解願いたいと思います。

また、臨床研修指定病院になっておりますが、残念ながらことしは1人しか来なかった。来年も6人を目指して頑張りますが、その中で2年間研修するわけですが、後期の2年目に入りますと診療の支援もできる体制になっていくということがありますので、そういうことも活用して、大畑診療所に対する支援策を強化していきたいと。きちんと3人を定着させるのにはまだ時間がかかる状況にあると。まして病院にしていくということになりますと、最低5人体制をとらなければなりませんので、そういうためには幾ら焦っても年数が必要になってくるということでご理解を願いたいと思います。

それから、診療所の活用方法でございますが、協議会、私が出ないから中断したのではないはずで、それぞれの事情がございますので、大畑地区の私に近い方々が5人ほどおいでになりまして、ぜひこの協議会を再開して活用方法を協議してくださいという依頼を受けました。その旨病院の方には指示をしております。指示をして、早く再開するようにしろということを伝えてはありますが、なかなか難しい事情があるというようなことです。改めてきょう千賀議員からこのようにご意見をいただきましたので、さらに強力に病院の方に、私の日程をも調整して、出席できるような形で取り組んでい

きたいと考えます。

○議長（宮下順一郎） 43番。

○43番（千賀武由） ありがとうございます。

まず第1点目については、理解をいたしますが、大畑診療所を利用する高齢者の皆さんは、それぞれもう私たちはむつ総合病院に通う車も体力もないと、そういう近い病院、複数の医師を抱えた入院できる病院に早く戻してほしいと切実に嘆いております。今の回答で理解いたしますが、どうぞ医師確保につきましても、市長の全力投球で地域住民を安心させていただきたいと思えます。

それと、空き病床の活用方法については、前進的な答弁を聞きましたので、大変ありがとうございます。そういうことで、何回もくどいようですが、医師の確保、大畑診療所は地域住民の切実な願いを早く解決するように、私自身も現在、ある医師にアタック中でございます、その実現方に努力しております。朗報を待っているところでもございます。どうぞ管理者を初め関係理事者も、なお一層の医師確保の努力をお願いしたいと思います。

苦しんでいるのは、地域住民だということを、私初め、そして市長、理事者の方も心にとめて、一日も早く実現するようお願いいたします、私の質疑を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。

○議長（宮下順一郎） ほかに質疑ありませんか。1番濱田栄子議員。

（1番 濱田栄子議員登壇）

○1番（濱田栄子） 千賀議員が大畑地区住民のすべての意思を代弁したと思いますけれども、私も同じ気持ちでございます。

ことし医療制度が改正になりまして、医師充足率が昨年までは60%でよかったのが、80%なければ診療報酬がカットになるということも認識しております。平成10年でしたでしょうか、大畑病院が建ちましたのは、まだ8年たっておりません。本当に地域の要望を踏まえて期待されて建てた病院でございます。その病院をやはり地域のために活用させていただきたいと。夕張市が準用財政再建団体になりまして、新しい施設がどんどん封鎖されているようでございますが、やはり医療は封鎖してはいけないと思います。市長も医師の確保が難しい、難しいとおっしゃいますけれども、まずは市長の意思を強くお持ちになって進めていただきたいと思います。

終わります。

○議長（宮下順一郎） ほかに質疑ありませんか。5番堺孝悦議員。

（5番 堺 孝悦議員登壇）

○5番（堺 孝悦） 全員協議会ですので、普通の議会と違ってざっくばらん

ということでお話し申し上げます。

今大畑地区選出の議員が2人、大畑診療所問題について言いました。旧大畑町が合併に踏み切らざるを得なかった大きな要因は、この大畑病院問題だったです。これ市長もご存じのとおりです。それから約1年余り、議論はまさに堂々めぐりなわけです。大畑地区住民あるいは近隣の望む医療体制と、現実に医療を預かっている当事者の苦境というものは、我々もよくわかっております。これから医師確保をする。幾ら言っただって、市長が前に言ったとおり、意思はあっても医師がないという、これは全国的なのです、むつ市だけではないのです。そこで、この論議を幾ら重ねても、私は打開策は見えないと思っております。なかなか非常に難しいというよりも、よほどの英断をしないと、この切り口はないのです。

私も事務当局と何度かお話をしました。しかし、医師を確保して仮に現状を打破したとしても、その裏にあるものは赤字問題なのです。これも絡んでくるわけです。したがって、赤字問題と住民の医療を満足させると、このやり方は、ないことはないのです、市長。しかし、全国的に見ても相当の決断を要するこの一手というのはわかっているはずですよ。わかっていますね、市長。これを片方で探るべきです。どうですか。

では、わからない人がいるから言いましょう。指定管理者制度を持ち込むことなのです。これ現実に八戸市であるのです、私電話して聞いています。ですから、その辺では行政のバックアップがあれば、私は可能だと思っております。市長、どうですか、その辺。

○議長（宮下順一郎） 市長。

（杉山 肅市長登壇）

○市長（杉山 肅） 報道によるところを参考にして申し上げるつもりですが、医師はどうしても都会志向が強いのです。ただいまのご発言の中でも八戸市ならあると、こういうお話でした。大畑は難しいということです。指定管理者制度は、確かに活用する方法の一つだろうと思います。しかし、今医師の数が多いと診療報酬が上がるという仕掛けになっているということは先ほど濱田議員がおっしゃったとおりであります。もう一つの心の中にある都会志向、まち好みというところがもう一つのハードルになっている。しかし、挑戦はしているのです。医師会の雑誌等に、そういう手を挙げる人を求める記事は載せてもらっているのです。まだ実を結ばないのです。明確に今度は指定管理者制度を使いますよと、ただし5人来ていただかなければなりませんよということになるわけです。これが花をつけ、実を結ぶかどうかはともかくとして、やってみる価値のあるテーマではあると思っておりますから、病院の

方に指示をして、それをやってみるということを伝えます。

○議長（宮下順一郎） 5番。

○5番（堺 孝悦） やはり軸足を変えると、そういうことでは、今までのやり方では、もう袋小路に入っているわけですから、新しいやり方に一步踏み出してほしいと。

終わります。

○議長（宮下順一郎） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（宮下順一郎） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上で各一部事務組合の現況と経過報告を終わります。

お諮りいたします。本日の全員協議会は、これで閉会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（宮下順一郎） ご異議なしと認めます。よって、本日の全員協議会はこれで閉会いたします。

（午後 2時32分 閉会）

上記のとおり相違ありません。

むつ市議会議長 宮 下 順一郎